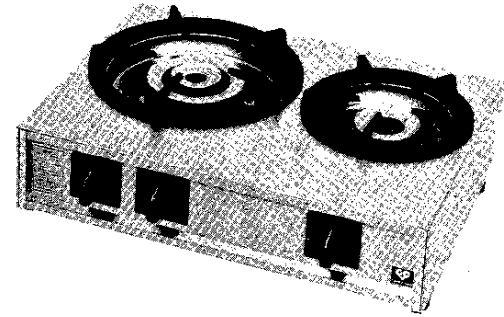


ガステーブルコンロ

10-347型

型式名 M-212C



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

♥ 大阪ガス

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 電話 大阪 06 (586)3200
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0726(71)0361
東部支社 〒578 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
京都支社 〒600 京都市下京区中堂寺薬田町1 電話 京都 075(311)7381
奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221
滋賀支社 〒525 草津市追分町字荒瀬880-1 電話 草津 0775(62)5311
滋賀東支社 〒522 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131
(長浜営業センター) 〒526 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビル
サービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。

ごあいさつ

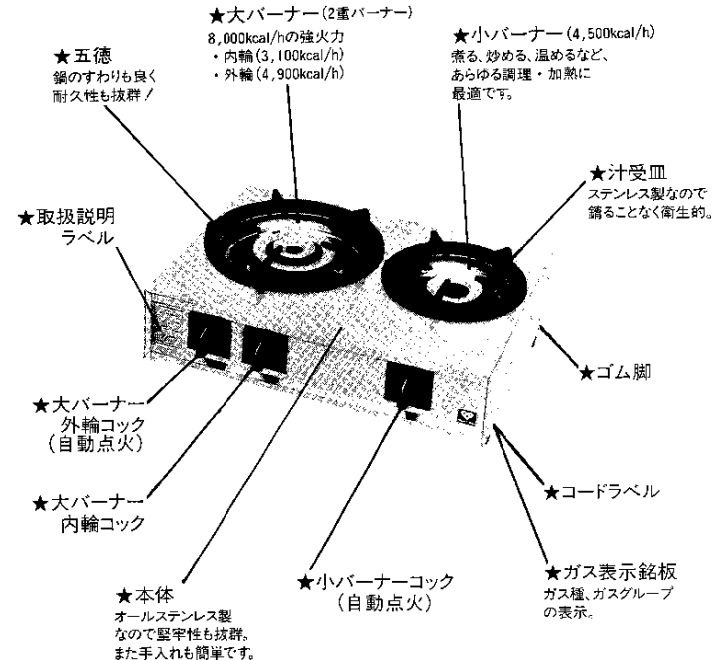
このたびは、大阪ガスのごステープルコンロをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

目次

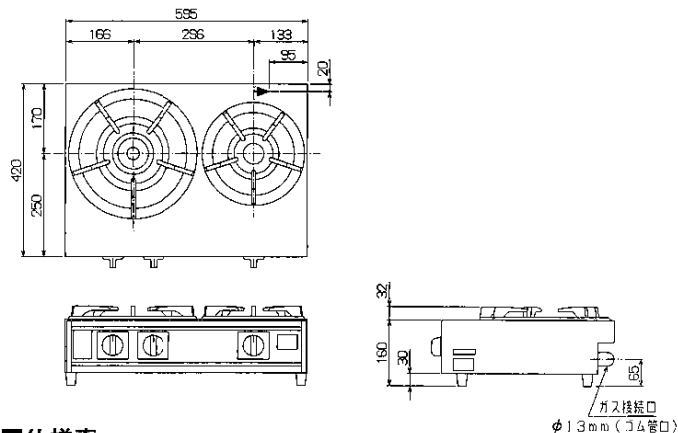
製品編	
I. 各部の名称と特長	1
II. 寸法図及び仕様表	2
III. 必ずお守りください	3
IV. 器具の設置	5
V. ご使用方法	5
VI. 日常の点検・手入れ方法	7
VII. 故障・異常の見分け方と処置方法	8
VIII. 保管とアフターサービス	9
工事編	

I. 各部の名称と特長



Ⅱ. 寸法図及び仕様表

■寸法図



■仕様表

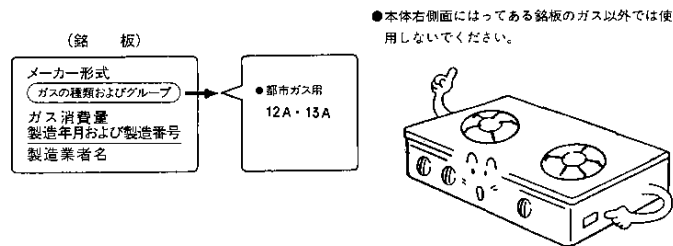
コード	(N)10-347	
ガス種	都市ガス 13A	
外形寸法	高さ(mm)	160
	幅(mm)	595
	奥行(mm)	420
標準インプット(kcal/h)	12,500	
最大ガス消費量(m ³ /h)	1.20	
大バーナー(kcal/h)	8,000	
小バーナー(kcal/h)	4,500	
点火方式	圧電点火方式(大バーナー内輪を除く)	
ガス接続	$\phi 13\text{mm}$ (ゴム管)	
重量(kg)	15	
型式	M-212C	

Ⅲ 必ずお守りください

★安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

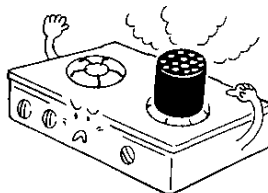
■ガスの種類を確かめる

- 器具本体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外では使用しないでください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、ガスの種類を必ず確かめてください。



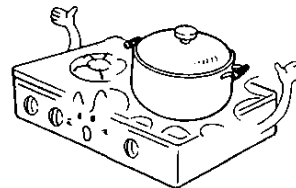
■用途について

- 調理以外の用途(炭・煤炭おこし・衣類の乾燥など)には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



■市販の補助用具について

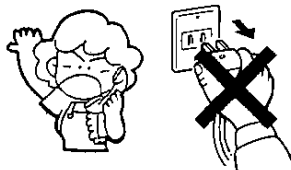
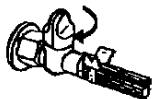
- 炉端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ持などは、使用しないでください。不完全燃焼をおこしたり、器具の異常過熱の原因になります。



★必ずお守りください

■ガス事故防止

- お出かけやおやすみになるときは、ガス元栓を必ず閉めてください。
- ひび割れしたり、差し込み部がゆるんだゴム管は必ず取り替えてください。(古くなったゴム管は取り替えてください。)
- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元栓を閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど) 火や火花で引火し、爆発事故などをおこすことがあります。

■換気

- ご使用中は時々窓を開けるか、換気扇を回して室内の空気を入れ替えてください。
- 閉めきった室内で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。
- 室内の換気口(給気口・排気口)は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。

■異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのまま使いにならず、直ちにご使用を中止(器具栓、ガス元栓を閉止)して十分な点検をお願いします。(「故障・異常の見分け方と処置方法」の項をお読み下さい。)

■日常の点検・お手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、お手入れは必ず行ってください。(詳しくは「日常の点検・手入れ方法」の項をお読みください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡下さい。

■長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのち、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分(ホースエンド)にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

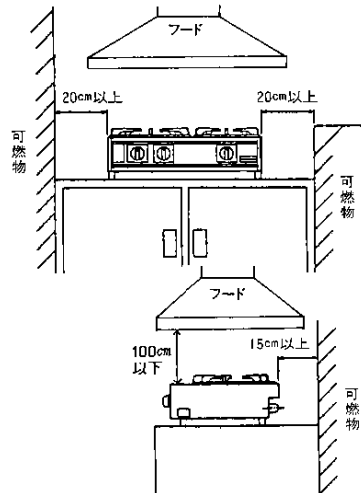
Ⅳ. 器具の設置

■設置前の準備

- 各部分の包装部品をとりはずして下さい。
- 器具の銘板の表示ガス(ガスグループ)と、ご使用になるガスと一致しているか確認して下さい。
- ゴム管をホースエンドに確実に接続して下さい。
- バーナーヘッドがバーナー本体に確実にハマっているか確認して下さい。

■設置上の注意

- 壁等が可燃物の場合、右図の様に可燃物より離して設置して下さい。
 - 壁等が不燃物の場合はその限りではありません。
- ※詳しくは、工事編の項をご覧ください。



Ⅴ. ご使用方法

■ご使用前の確認及び準備

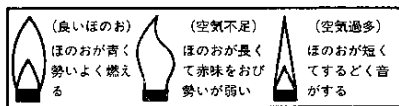
- バーナーの取付けは安定していますが、バーナー底部の凸部が、バーナー一台の穴に正しくはまっているか確認して下さい。
- 五徳の取付けは安定していますが、五徳裏面の凸部が、トップの穴に正しくはまっているか確認して下さい。
- 器具のガスコックが閉じているのを確認してから、ガスの元コックを全開にして下さい。

■点 火

1. 小バーナーは「止」の位置でツمامミを押して、そのまま左へ「開」の位置までいっぱい、ゆっくり回して点火します。
2. 大(二重)バーナーは向かって左側のツمامミ(外輪バーナー)を「開」の位置までいっぱい押し回して、外輪バーナーに点火します。
次に右側のツمامミ(内輪バーナー)を押し回して内輪バーナーに点火します。
(注：内輪バーナーは自動点火ではありません。必ず、外輪バーナーから点火してください。)

■燃焼状態確認

- あらかじめダンパー調整されて、最良の状態で燃焼するようにセットされています。
(注) 万一、燃焼状態が悪い場合は、「故障・異常の見分け方と処置方法」をお読みください。



- ガスが正しく燃焼しているかどうか、ときどき確認してください。

■消 火

- ツمامミを右へ90°回して「止」の位置にもどし、消火を確認してください。
- ご使用後は、必ず、ガス元栓を閉めてください。

■ご使用上の注意

- 配管内に空気が残っている時は、何回かくり返し点火操作をしてください。
- ご使用中は危険ですので器具のそばを離れないでください。
- ご使用中及び直後は器具の温度が高くなりますので、ガスコック以外は触れないで下さい。
- せまい部屋や閉めきった部屋でのご使用や、長時間ご使用になるときは換気が必要です。必ず、換気口を設けてください。

Ⅶ. 日常の点検・手入れ方法

点検・手入れの前には、ガスの元コックを閉め、器具が冷えてから行って下さい。

■点 検

- 器具の周りに燃えやすいものはありませんか。
- ゴム管が古くなってひび割れたり、折れ曲がったり、器具に触れたりしていませんか。また、ゴム管がガスの元コックやゴム管口に充分差し込まれていますか。

■お手入れ

- バーナーの炎口が詰まると、炎が出なかったり、炎が不揃いになったりして不完全燃焼になります。バーナーのヘッドはこまめに点検・掃除して下さい。
- 汁受け、五徳が汚れた時は取り外して掃除して下さい。
水洗いした時は水をよく切って下さい。なお、器具本体は水洗いをしないで下さい。

Ⅶ. 故障・異常の見分け方と処置方法

現象	原因						処置方法
	着火しない	バーナーから「すす」赤火が出る	異常音をたてて燃える	ガスのおいがする	ガスコックのツマミの操作が重い	使用中に消火する	
ガスの元コックが閉まっている	○						ガスの元コックを開ける
ガス圧が適切でない	○	○	○				販売店へ連絡する
ゴム管のひびわれ、穴あき				○			新しいゴム管と交換する
ゴム管の接続が不完全				○			ゴム管の接続を確認にする
ゴム管が折れている	○					○	ゴム管の折れをなくす
接続管の内に空気が残っている	○					○	点火操作をくりかえす
空気調節が適当でない	○	○	○				掃除後空気調節を再度する
ノズルづまり	○	○				○	販売店に依頼する
空気吸入口にほこりがつまっている		○					掃除をする
器具ガスコックの異常	○			○	○	○	販売店に依頼する
バーナーヘッドの詰まり及び適合不良	○	○	○	○			販売店に依頼する
器具の銘板と使用ガスが不一致	○	○	○	○		○	販売店に連絡する

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

ご注意

- 不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客様自身で修理なさらないでください。

Ⅷ. 保管とアフターサービス

■保管(長期間使用しない場合)

★ガス元栓を閉じてください。

★器具の点検・お手入れをしてください。

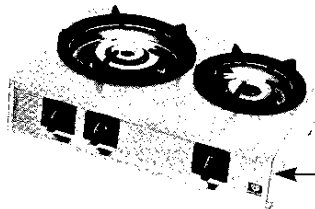
- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
- 特にガス接続口には、ほこりやごみが入って通路をつまらぬように注意してください。
- 湿気やほこりの少ないところに保管してください。

■アフターサービスのお申し込み

★サービスのお申し込み

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品名……ガステーブルコンロ
- (2) 品番……右側面下部に貼付してあります。



(N)10-347

大阪ガス株式会社

- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) お名前、ご住所、電話番号、道順……(できるだけ詳しく)

●転居されるとき

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。
 ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス社にご相談ください。
 この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●保証・補修について

この器具には、保証書がついています。

- 保証期間中は……
 保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
 保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
 お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス社にご相談ください。
 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

工事・設置される方へ

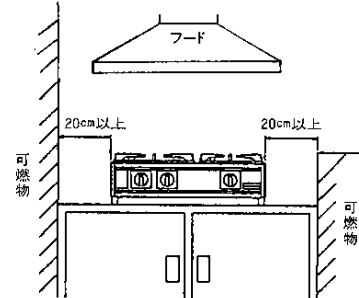
正しく設置していただくため「工事編」をお読みになって指定された工事を行ってください。また工事完了後は、お客様が転居される場合がありますので、取扱説明書はお客様に渡し保存するようにして下さい。

■設置前の準備

- 各部分の包装部品を取外してください。
- 器具（銘板）に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使用しないでください。

■設置上の注意

可燃物等からの隔離距離 (cm)			
	側方	前方	後方
フード	20以上	15以上	15以上



但し、不燃物の場合はその限りではありません。

ガス機器直上に排気フード付排気筒を設け、ガス機器を設置してください。

また室内に給気口を設けてください。

※詳しくは、ガス機器の設置基準及び実務指針（業務用厨房編）をご覧ください。

